

電算労コンピュータ関連労働組合
執行委員長 小林 寛志 殿
同NJK支部
執行委員長 松田 荘二 殿

人2002-001号
2002年 4月19日

株式会社 エヌジェーケー
取締役社長 谷村 直志

回 答 書

2002年3月29日付にて、貴組合より要求のあった賃金引き上げ等に関し、慎重に検討した結果、次のように回答する。
回答にあたっては、我々をとりまく経済環境、業界の現状と今後の方向及び貴社の現状と将来展望を充分検討した上で、可能な限りの内容を盛り込んだものと考えているので、ご検討いただきたい。
なお、別紙として回答にあたっての主旨書を添付したので本回答書とあわせてご理解願いたい。

記

1. 賃上げ

- (1) 基本給の引き上げ
組合員一人平均現行基本給の1.66% (4,512円)の基本給引き上げを行う。
今回は、ベースアップ原資を別紙のとおり配分することにより、実績・成果主義賃金をより一層推進させることとした。
定期昇給相当 (年齢給含む) 1.22% (3,312円)
ベースアップ相当 0.44% (1,200円)

(注) 定期昇給のうち号給については、全員C評価の場合である。

(参考) 6等級以下一人平均現行基本給の1.78% (4,558円)の基本給引き上げとなる。

2. 労働時間の短縮

総労働時間の短縮については、時間外労働時間の削減を軸に努力を続けているところであるが、前年度は前々年度と比較して平均で約2.4時間増加する結果となった。(2001年度37.7時間 2000年度35.3時間)
しかしながら、貴組合要求を考慮し、かつ時間外労働時間を削減することを念頭に労使協議会にて検討したい。

3. 健康破壊の防止

2001年度と同様、時間外労働の削減施策を継続実施するとともに、健康診断の結果、治療が必要にもかかわらず以後、通院等の治療行為を行っていない社員に対し上長を通じて「治療と予防」を徹底させる。
また、例年実施しているメンタルヘルズ研修を、今年は、4等級以下の社員を対象に予定している。

以 上

- 1 -

(別 紙)
定昇テーブル (職能資格制度上の号給テーブル)

等 級	昇給号数 昇給金額	前年度の昇給評価ランク				
		A	B	C	D	E
6	号 数 金 額	1 6 6,400	1 2 4,800	8 3,200	5 2,000	2 800
5	号 数 金 額	1 2 4,800	9 3,600	6 2,400	4 1,600	1 400
4	号 数 金 額	8 3,200	6 2,400	4 1,600	3 1,200	1 400
3	号 数 金 額	7 2,800	5 2,000	3 1,200	2 800	0 0

ベースアップ相当の配分テーブル

等 級	昇給号数 昇給金額	前年度の昇給評価ランク				
		A	B	C	D	E
6~3	号 数 金 額	+7 2,800	+5 2,000	+3 1,200	+1 400	±0 0

注) 1. 各等級とも同じ加算号数 (金額)。
2. 号数 (上段) は、号給テーブルの号数への加算号数。
3. 金額 (下段) は、号給テーブルの金額への加算金額。

参考: 平成14年度昇給早見表

等 級	昇給号数 昇給金額	前年度の昇給評価ランク				
		A	B	C	D	E
6	号 数 金 額	2 3 9,200	1 7 6,800	1 1 4,400	6 2,400	2 800
5	号 数 金 額	1 9 7,600	1 4 5,600	9 3,600	5 2,000	1 400
4	号 数 金 額	1 5 6,000	1 1 4,400	7 2,800	4 1,600	1 400
3	号 数 金 額	1 4 5,600	1 0 4,000	6 2,400	3 1,200	0 0

- 2 -

電算労コンピュータ関連労働組合
執行委員長 小林 寛志 殿
同NJK支部
執行委員長 松田 荘二 殿

人2001-002号
2002年 4月19日

株式会社 エヌジェーケー
取締役社長 谷村 直志

回 答 書

2002年3月29日付にて、貴組合より要求のあった夏季および冬季の一時金に関し、慎重に検討した結果、次のように回答する。

なお、別紙として回答にあたっての主旨書を添付したので本回答書とあわせてご理解願いたい。

記

1. 2002年夏季一時金

本一時金の支給対象期間は前期下期である。前期の収益結果については、まだ未確定の部分もあるが、貴組合の要求に少しでも近づけるため、可能な限り高いものとした。

(1) 支給額

2001年度基本給×2.40ヶ月×出勤率±評価

この結果、組合員一人あたりの平均支給額は、652,211円となる。

上記の回答の結果、組合員一人あたりの前期の成果配分(2001年冬季賞与+2002年夏季賞与)は、1,358,951円となる。

(参考) 組合員一人あたりの前々期の成果配分(2000年冬季賞与+2001年夏季賞与)は、1,349,283円である。

なお、評価については、昨年度団体交渉にて決まった評価率を適用する。
(表1「評価率表」に示した)

(2) 支給日

貴組合の要求通り2002年6月28日(金)とする。

- 1 -

2. 2002年冬季一時金

本一時金の対象期間は今期上期であり、現時点ではその業績については予測の域を出ない。しかしながら社員の資金需要と夏冬のバランスを考慮し、来年度夏季一時金原資の一部を今期冬季一時金に充てることも含め以下のとおりとする。

(1) 支給額

2002年度基本給×2.37ヶ月×出勤率±評価

この結果、回答書(人2002-001号)の賃上げを行った前提で、組合員一人あたりの平均支給額は、654,761円となる。

なお、評価率については、2002年夏季一時金と同様、表1の評価率を適用する。

(2) 支給日

貴組合の要求通り2002年12月6日(金)とする。

(表1)

【 評価率表 】

ランク	A	B	C	D	E
賃与点	95~	80~94	60~79	40~59	~39
6等級	+25.0%	+12.5%	±0.0%	-12.5%	-25.0%
5等級	+20.0%	+10.0%	±0.0%	-10.0%	-20.0%
4等級以下	+15.0%	+7.5%	±0.0%	-7.5%	-15.0%

以 上

- 2 -